



プレスリリース

2025 年 4 月 14 日

マレリ、オート上海 2025 ではソフトウェア定義車両にフォーカス 新 ProZone ゾーン・コントロール・ユニットを展示

ソフトウェア駆動のソリューションへのシフトによる市場準備の加速は
マレリの「Fast Forward. Forward Fast.」アプローチにおける重要なテーマです

自動車業界のグローバル技術パートナーであるマレリは、オート上海 2025 でソフトウェア定義車両（SDV）の主要技術を展示します。新しく開発された ProZone はミドル・レンジ・ゾーン・コントロール・ユニットで、熱管理や車体制御、駆動力といった、最も複雑で安全性が重要な機能を含む最大 3 つのドメインを制御します。マレリは、4 月 23 日から 5 月 2 日まで上海国家会展中心（NECC）に出展し、1.2H ホール、1BF009 ブースに位置する大規模な“Fast Forward. Forward Fast”をテーマに、SDV にフォーカスした展示を行います。

SDV への移行に伴い、自動車のアーキテクチャは分散システムからゾーン・アプローチへと進化しています。この変革により、車両内の電子制御ユニット（ECU）の数が最大 100 個から平均で 20 個未満に減少します。ゾーン・アーキテクチャでは、ゾーン・コントロール・ユニットがクロス・ドメインの機能を管理し、重量、コスト、複雑さを大幅に削減します。その結果として、OEM は異なるレベルの投資とタイムラインでさまざまなソリューションを採用できます。

マレリは広範な専門知識と、車両のソフトウェア機能の 80%をカバーする能力により、SDV 分野でリーダーとしての地位を確立しています。マレリの製品は、ソフトウェア、電子ハードウェア、機能コンポーネントを分離した柔軟な作業モデルを特徴としており、既存の車両プラットフォームをアップグレードする際にサードパーティ製品と統合できることが大きな利点です。この適応性に加え、2026 年までに世界最大のゾーン・コントロール・ユニットのサプライヤーとなる計画に基づき、マレリは競合他社との差別化を図っています。マレリは、OEM の SDV 移行の進捗状況に応じてソリューションをカスタマイズして提供します。

マレリの社長兼 CEO であるデイビッド・スランプは次のように述べています。「ソフトウェア定義車両への移行において、マレリは自動車メーカーを、彼らが選ぶどのペースでも支援する準備ができています。我々の柔軟性は顧客中心のパートナーシップ・モデルに基づいており、私たちは傾聴し、適応し、解決し、提供することを通じて、OEM のニーズの進化と共に成長していくことを約束します。」

オート上海のマレリ・ブースには、「Velocity Zone」と呼ばれる専用エリアが設けられ、マレリのソフトウェア定義車両の実現ツールがどのようにコスト効率を高め、革新を加速するか紹



介します。展示技術には、事前設定された機能セットを用いて訪問者自身の車両アーキテクチャをカスタマイズできるインタラクティブな SDV コンフィギュレーターや、ドライバーがカスタマイズ可能な没入型で魅力的なユーザー体験を提供する AI 搭載の車両アシスタント「MyAvatar」が含まれています。

オート上海で、マレリは次世代ゾーン・コントロール・ユニット（以下 Zones）ポートフォリオの一部として、強力で多用途なプラットフォーム「**ProZone**」を初公開します。Zones は、独立型 ECU を統合し、中央集約型のアーキテクチャで全体のコストと重量を削減し、時間の経過とともにアップグレード可能な真のソフトウェア定義システムを実現します。

具体的には、ProZone は革新性とコスト効率を兼ね備え、ボディ、照明、パワー配分、診断、駆動力、熱管理、ライド・ダイナミクス、車体制御について、最大 3 つの異なるドメインを管理します。LeanZone および EliteZone 同様、ProZone は多様な市場の需要に応えるマレリのスケーラブルなハードウェア・アーキテクチャです。

訳注：当文書は 2025 年 4 月 14 日に発表された英語版プレスリリースの翻訳です。プレスリリースの正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語版が優先されます。

マレリについて

マレリは自動車業界をリードするグローバルなモビリティ・テクノロジー・サプライヤーです。技術革新と卓越した製造において確固たる実績を持つ当社の使命は、お客様やパートナーとの協力を通じてモビリティの未来を変革し、より安全で環境に優しく、より良いコネクテッド・ワールドを創造することです。全世界に約万 4,5000 人の従業員を擁するマレリは、アジア、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカに 150 の施設と研究開発センターを有しています。